

トップリダーセミナー 「管理職に求められる政策力」

NEW!

■講師

塩田 邦成（大阪電気通信大学 大学事務局長・理事）

1978（昭和 53）年 3 月立命館大学文学部卒、2014（平成 26）年 3 月東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。1978（昭和 53）年 4 月学校法人立命館事務職員。立命館アジア太平洋大学（APU）事務局長・学長室長、立命館大学国際部事務部長、立命館東京キャンパス所長、人事部担当部長、株式会社クレオテック取締役を経て 2017（平成 29）年から現職。

■プログラム概要

2014（平成 26）年、中教審が「大学のガバナンス改革の推進について」を発表しました。ここでは学長のリーダーシップが強調されましたが、同時に学長を支える経営マネジメント人材の必要性、大学行政を支える職員業務の高度化が指摘されていました。これを受けて 2017（平成 29）年、大学設置基準が改正され、教職協働の必要性が盛り込まれました。この過程で明らかになったことは、大学職員が担うべきは「事務仕事」レベルではなく、大学経営や大学行政の特色をふまえたものにシフトさせる必要がある、ということです。講師は、新しい状況下での職員業務のポイントは政策立案業務であり、政策立案能力の育成が重要課題ととらえています。

本講義では、近年の大学職員論を概観し、講師自身が 40 年間大学行政に携わる中で経験したことがらをふまえ、政策立案とは何か、政策力とはどのような視点で身につけるのか、事務職員がそのような業務にシフトできる職場条件は何か、を提起します。

質疑応答、一緒に考える時間もしっかり確保して、相互のコミュニケーションを深めたいと思います。

■主な受講対象

現在管理職の方でなくても、高等教育、大学行政を担当する職員としてのマインド形成に関心がある方もぜひご参加ください。

過去・現在の職務経歴、担当業務は特に問いません。

■本プログラムの到達目標

1. 大学職員論の現況と大学職員に求められる業務の新たな水準が理解できる。
2. 政策力とはどのようなものか、そのための自己啓発の方向が理解できる。
3. 業務を見直し、職員としてのコンピタンスはどの部分で発揮されるべきか想定できる。
4. 業務内容に応じて多様な担い手のアサインが想定できる。

■日時・場所

日時：令和元年 8 月 29 日（木）10：00～12：00

場所：愛媛大学城北キャンパス